

2022年1月19日

報道関係各位

日本の伝統工芸 漆塗りの技と美を楽しむ万年筆第四弾、国内8本限定！

『溜塗り万年筆 青溜め』

2022年2月19日(土) 世界88本限定発売

セーラー万年筆(社長：比佐泰、本社：東京都港区)は、「溜塗り万年筆 青溜め」を2022年2月19日(土)よりセーラー万年筆製品取扱販売店にて世界88本(国内8本、海外80本)を限定発売いたします。

■『溜塗り万年筆 青溜め』

「溜塗り万年筆 青溜め」はボディにエポナイト材を使用し、下塗りの「青漆」の上に「透き漆」を塗り重ね、深みのある美しい色調を生み出しました。使い込むほどに「透き漆」の透明感と下塗りの色合いが増していき、さらに奥行きが感じられるものとなります。漆芸作家 西原功修氏の手作業により時間を掛けて丹念に仕上げられたボディに手書きの署名とシリアルナンバーを加え、セーラー万年筆独自の超大型21金ペン先を搭載いたしました。伝統技法に創作性を加えた逸品は、国内ではわずか8本のみでの販売で、世界でも合計88本限定の非常に希少価値の高いものとなっています。

◆「溜塗り」とは

溜塗りは、日本の伝統工芸漆塗りの一技法です。

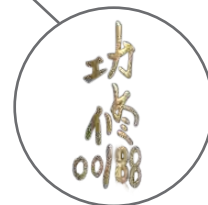
下塗りの漆の上に透明感のある漆を塗り重ねることで、深みのある美しい色調がうまれます。

使い込むほどに艶やかさをまとう逸品です。海外でも非常に評価が高く、広く支持されております。



溜塗り万年筆『青溜め』

漆芸作家 西原功修による、
手書きの署名とシリアルナンバー入り



専用化粧箱



セーラー万年筆独自の21金ペン先

◆漆芸作家 西原 功修 (広島市在住)

1972年広島市の仏壇時絵職人の家庭に生を受け、幼いころから伝統の技に慣れ親しんで育つ。石川県立輪島漆芸技術研究所に学び、その間、渡部暢康、伊川雅仁両氏に師事する。同研究所卒業後、広島に戻り家業である仏壇時絵に従事する傍ら漆芸作家として、日本伝統工芸展、日本伝統漆芸展をはじめ、数々の美術展、個展等にて活躍している。

【製品スペック】

品名：溜塗り万年筆 青溜め

希望小売価格：330,000 円（本体価格 300,000 円）

字幅：中字 / 太字

ペン先：21 金、超大型

蓋・胴・大先：エボナイト、溜塗り

本体サイズ：φ20×153.5mm、

パッケージ：専用化粧箱入り（213×90×H50mm）

付属品：布製 1 本袋、クリーニングクロス、カートリッジインク（ブラック）2 本

【製品の取り扱いに関する問合せ先】

ユーザーサービス：0120-191-167（フリーダイヤル）

以上

《当リリースに関する問合せ先》

製品開発本部：03-6670-6605 木村（kimura-a@bungu.sailor.co.jp）

不在時：製品開発本部 徳増（tokumasu-k@bungu.sailor.co.jp）

※画像のご依頼は、木村（kimura-a@bungu.sailor.co.jp）までお願いいたします。

※当資料は、東商記者クラブに投函しております。

会社概要：セーラー万年筆株式会社（代表取締役社長 比佐泰）東証二部：証券コード 7992

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス 10 階

Tel: 03-6670-6601 URL: <https://www.sailor.co.jp>